

| | | | | | | |
|-------------------------|--|-------------|----|--------|----|-------|
| 看護専門科目 | 臨床応用看護学 | | | | | |
| 看護学科 | 必修 | 2単位 | 演習 | 平成30年度 | 後期 | 2年次 |
| | | | | | | |
| 科目名 | 母性看護学実践論Ⅰ（女性のライフサイクルと看護） | | | | | |
| 担当教員 | ◎江南宣子 田村博美 塚田桃代 中村喜代美 | | | | | |
| 目的 | 女性のライフサイクルの中の周産期（妊娠期・分娩期）に焦点を当てて、母子と家族の健康のセルフケア能力獲得の看護と、各期の健康から逸脱した場合の援助の基礎的知識能力・看護技術能力を養う。 | | | | | |
| 目標 | 1. 妊娠期・分娩期に生ずる母体の生理的変化と特徴および胎児期の成長・発達の生理的変化を理解する 2. 妊娠・分娩によって生ずる心理社会的変化と各期における情緒的変化を理解する。 3. 妊娠・分娩期に起こりやすい不快症状の発祥機序を理解し、ケアの要点を述べる事が出来る。 4. 出産、育児の準備に向けて、支援のポイントをのべる事ができる。 | | | | | |
| 他科目との関連 | 母性看護学概論 小児看護学 | | | | | |
| 評価方法 | 項目 | 評価の内容 | | | | 評価の比率 |
| | 筆記試験 | 定期試験 | | | | 0.8 |
| | レポート | 妊娠期保健指導媒体作成 | | | | 0.1 |
| | 記録等 | 演習冊子 | | | | 0.1 |
| 評価基準 | 総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。 | | | | | |
| 教科書 | ナーシンググラフィカ母性看護実践の基本（メディカ出版） ナーシンググラフィカ母性看護技術（メディカ出版） ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程：医歯薬出版株式会社 | | | | | |
| 参考資料 | 母性看護学各論（医学書院）、写真でわかる母性看護技術（インターメディカ）、病気がみえる（メディックメディア）、その他適宜資料配布 | | | | | |
| 備考 (受講上注意、 事前学習等) | 周産期各期の内容となるため量が多くなり進捗が速くなる。テキストの予習・復習を積極的に行い専門用語の理解をしておくこと。また、演習やグループ活動が多くなるため体調を整えて欠席としないようにする。演習やグループ活動の欠席者は課題提出を求めることがある。 | | | | | |